

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

複合レジヤ施設におけるボイラー更新による
排出削減事業（灯油→木質ペレット）

排出削減事業者名：明和工業株式会社 印

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社 印

その他関連事業者名： 印

申請日： 年 月 日

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	明和工業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	メイワサンピア
住所	新潟県新潟市西区赤塚 4627-1
排出削減事業共同実施者	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

複合レジャー施設におけるボイラー更新による排出削減事業（灯油→木質ペレット）

2.2 排出削減事業の目的

既存の灯油焚きボイラーを木質ペレット焚きボイラーに更新することで、再生可能エネルギーの有効利用および CO2 排出量の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

灯油炊きボイラーから木質ペレット焚きボイラーに更新することで、カーボンニュートラルにより CO2 を実質的に排出しない。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

事業の終了予定は 2019 年 9 月 30 日までであるが、対象の複合レジャー施設が 2018 年 9 月で営業を終了となったため、本報告書に係わる認証期間は 2018 年 8 月 31 日までとした。その他の変更はない。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2011年10月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日～2018年8月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

排出削減事業が活動量指標を採用している場合、排出削減事業計画5項に沿って記載。

4.2.1 活動量・原単位

活動量、原単位は採用しない。

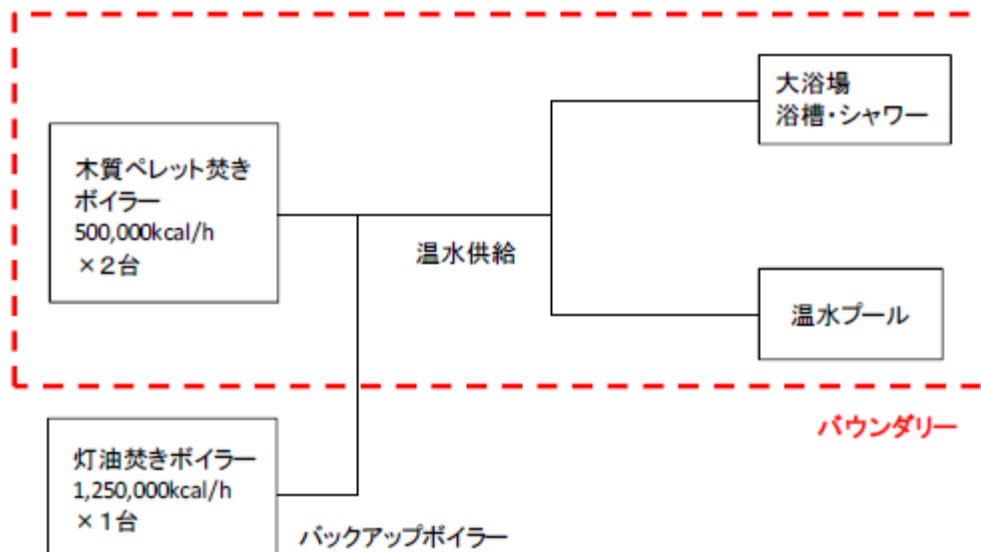
4.2.2 活動量の採用根拠

活動量、原単位は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業の範囲は、更新対象のボイラーおよびそれに付随する設備である。

詳細は下図の通り。



5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画 7.1 項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場 合、) 変更理由
$F_{fuel, Pj}$	木質ペレットの使用量	t/年	2013年度：570.5 2014年度：555.0 2015年度：381.0 2016年度：231.5 2017年度：267.5 2018年度：95.0	燃料供給会社の請求書を確認する。	変更なし
$HV_{fuel, Pj}$	木質ペレットの単位発熱量（低位発熱量ベース）	GJ/t	2013年度：17.9 2014年度：16.0 2015年度：18.2 2016年度：19.2 2017年度：18.2 2018年度：17.8	燃料供給会社の分析報告書より算出	変更なし
ϵ_{Pj}	事業実施後ボイラー効率（低位発熱量ベース）	%	85.5	仕様書より算出	変更なし
ϵ_{Bl}	事業実施前のボイラー効率（低位発熱量ベース）	%	86.8	仕様書より算出	変更なし
$CF_{fuel, BL}$	灯油の単位発熱量あたりの排出係数（低位発熱量ベース）	t-CO ₂ /GJ	2013年度：0.07221 2014年度：0.07221 2015年度：0.07221 2016年度：0.07221 2017年度：0.07221 2018年度：0.07221	デフォルト値を確認	変更なし

7 排出削減量の計算

承認排出削減事業計画において採用した算定式に基づき、モニタリング対象項目実測値等を反映した計算結果を記入すること。

注) 複数の方法論を採用している場合は、方法論ごとに排出削減量の計算結果を記入すること。

7.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	570.5	17.9	0	0
2014 年度	555.0	16.0	0	0
2015 年度	381.0	18.2	0	0
2016 年度	231.5	19.2	0	0
2017 年度	267.5	18.2	0	0
2018 年度	95.0	17.8	0	
単位	ton	GJ/t	tCO2/GJ	tCO2
EM _{PJ}				0

7.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	10,059.0	—	0.07221	726.4
2014 年度	8,747.0	—	0.07221	631.6
2015 年度	6,830.3	—	0.07221	493.2
2016 年度	4,378.2	—	0.07221	316.2
2017 年度	4,795.6	—	0.07221	346.3
2018 年度	1,665.7		0.07221	120.3
単位	GJ	—	tCO2/GJ	tCO2
EM _{BL}				2,634.0

7.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
2017 年度	0			0
2018 年度	0			0

LE	0
----	---

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM_{BL}</i>	2,634.0
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	0
リーケージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量		<i>ER</i>	2,634

8 省エネルギー量

注) 複数の方法論を採用している場合は、表を追加して方法論ごとにエネルギー使用量を記載すること。

	モニタリング期間 (2013年 4月 1日 ~ 2018年 9月 30日)						
	エネルギー使用量			熱量換算 (GJ)		原油換算 (kl)	
	単位	ベースライン	実績	ベースライン	実績	ベースライン (①)	ベースライン-実績 (①-②)

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年 4月 1日 ~ 2018年 9月 30日)			
	単位	エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
		(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	2,100.5	37,030.5	955.4
バイオマス熱利用量	GJ	0	0	0
太陽光発電量	kWh	0	0	0
温泉熱・温泉排熱利用量	GJ	0	0	0
バイオコークス利用量	t	0	0	0
太陽熱利用量	GJ	0	0	0
小水力発電量	kWh	0	0	0
雪氷融解水熱利用量	GJ	0	0	0
風力発電量	kWh	0	0	0
バイオディーゼル燃料使用量	kl	0	0	0